

見方・考え方ははたらかせて 自ら学ぶ子ども

～単元内自由進度学習の実践を通してそれぞれの授業観を更新しながら
生徒理解を深め 授業力向上を目指す菅平中～

実践内容

【愛知県緒川小・北部中視察研修】

- 単元内自由進度学習は、「**個性化教育**」という理念のもとで実践されている教育活動の一部である
- 両校の単元内自由進度学習は更新されて続けている
- 先生方は、**新たなチャレンジを楽しんでいる**
- 鬼頭先生から菅平中に向けてエールをいただいた



【佐野亮子先生との研修会】

- 2年数学「図形」についての具体的なアドバイス
- 各教科の実践に向けた具体的なアイデア
- 懇談を通して授業観を見つめ合えた「**子どもの姿をどのように見ればよい?**」
- 「**自立した学習者を育てる**」という目的意識をもつ
- 正しい自由進度学習を求めるものではない「**答えは子どもたちにある**」
- 忠告「中途半端なやり方で進めて『自由進度はダメ』とならないように」



【伏木久始先生・信大教職大学院のみなさんとの研修会】

- **小規模校の強みを生かした教育活動**を行うこと
- 生徒数減少・複式学級増加の現状と本校の役割
- 子どもの内なる力を伸ばす教育・多様性を包み込む教育の必要性
- 自分の「あたりまえ」「普通」を疑う視点をもつこと
- 教職大学院生のみなさんとの学習材づくり



2年数学「図形」単元内自由進度学習



生徒の振り返り(抜粋) ～「答えは子どもたちにある」～

「教室でやってみて集中できなくなったら会議室に行ったり、途中から動画を見たりして、勉強を変えたりした。」→**学習環境の自己選択・調整**「友達と自分の考えが違ったりして、そのやり方などは教えてもらった。」→**他者との関わりによる学びの深化**「計画をきちんと立て、分からないところは動画を見たり、先生や友達に聞いたり、曖昧なところはプリントをもう一度やったりすればいいと思った。」→**学び方の理解**「私は意外と数学出来るかもしれない。」→**自己効力感の変容**

成果と課題、今後に向けて

- ✓ **授業観の変容**: 本実践を通して、自らの授業観を客観的に問い直す契機となった。
- ✓ **生徒理解の深化**: 従来の授業では見えづかった生徒の新たな側面を捉えることができ、本校が重視する「生徒理解」をより深めることができた。
- ✓ **共有と発信の工夫**: 単元内自由進度学習の目的を職員・生徒間でしっかりと共有するとともに、学習の成果を生徒・職員が実感できる振り返りの手だてを工夫し、保護者へ積極的に発信していく。
- ✓ **次年度の展望**: 研究テーマを具現化するため、次年度は全教科で自由進度学習を実践し、研究のさらなる深化を図りたい。
- ✓ **研鑽の継続**: 既存の型に捉われず、常に新たな挑戦を楽しみながら、主体的な研修を継続していきたい。